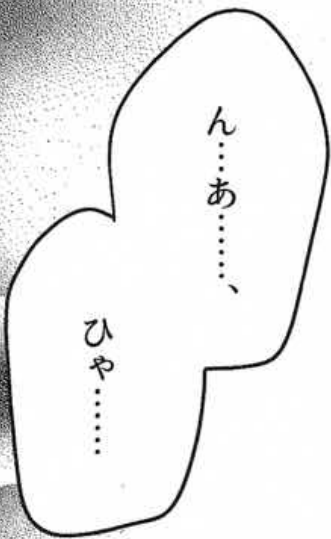


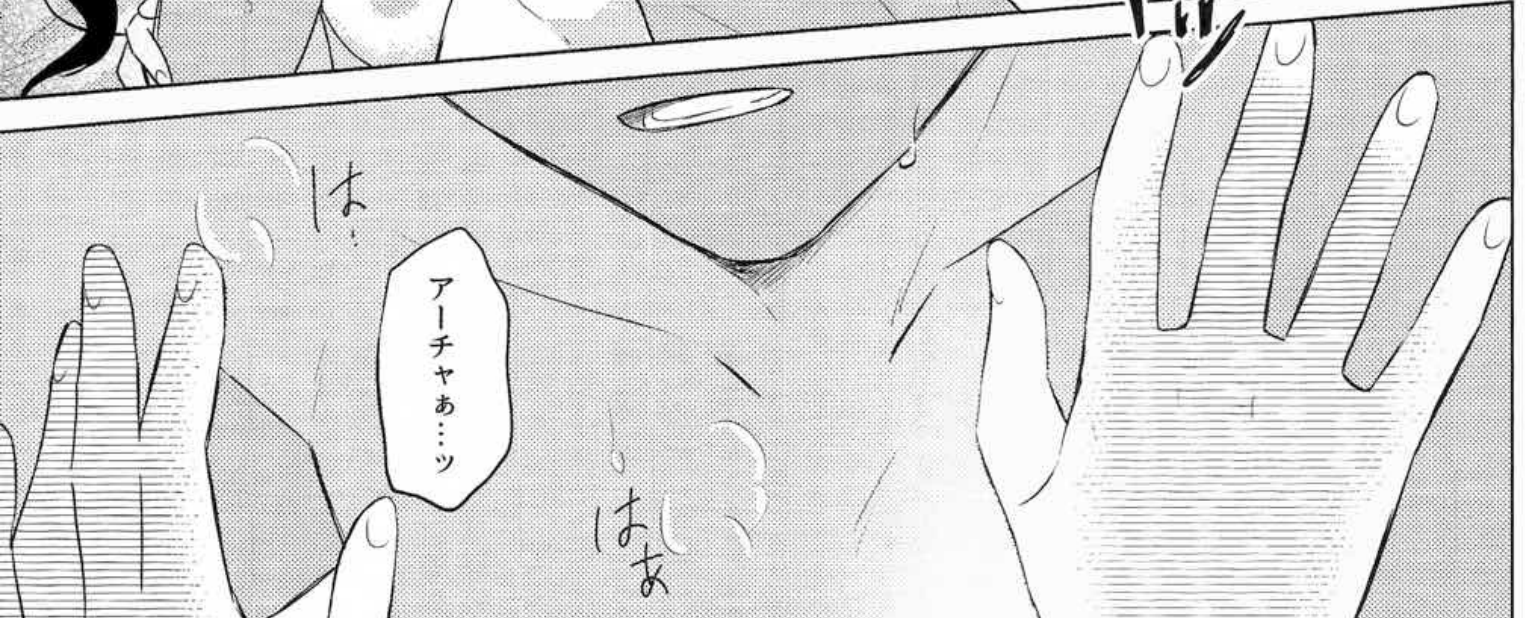
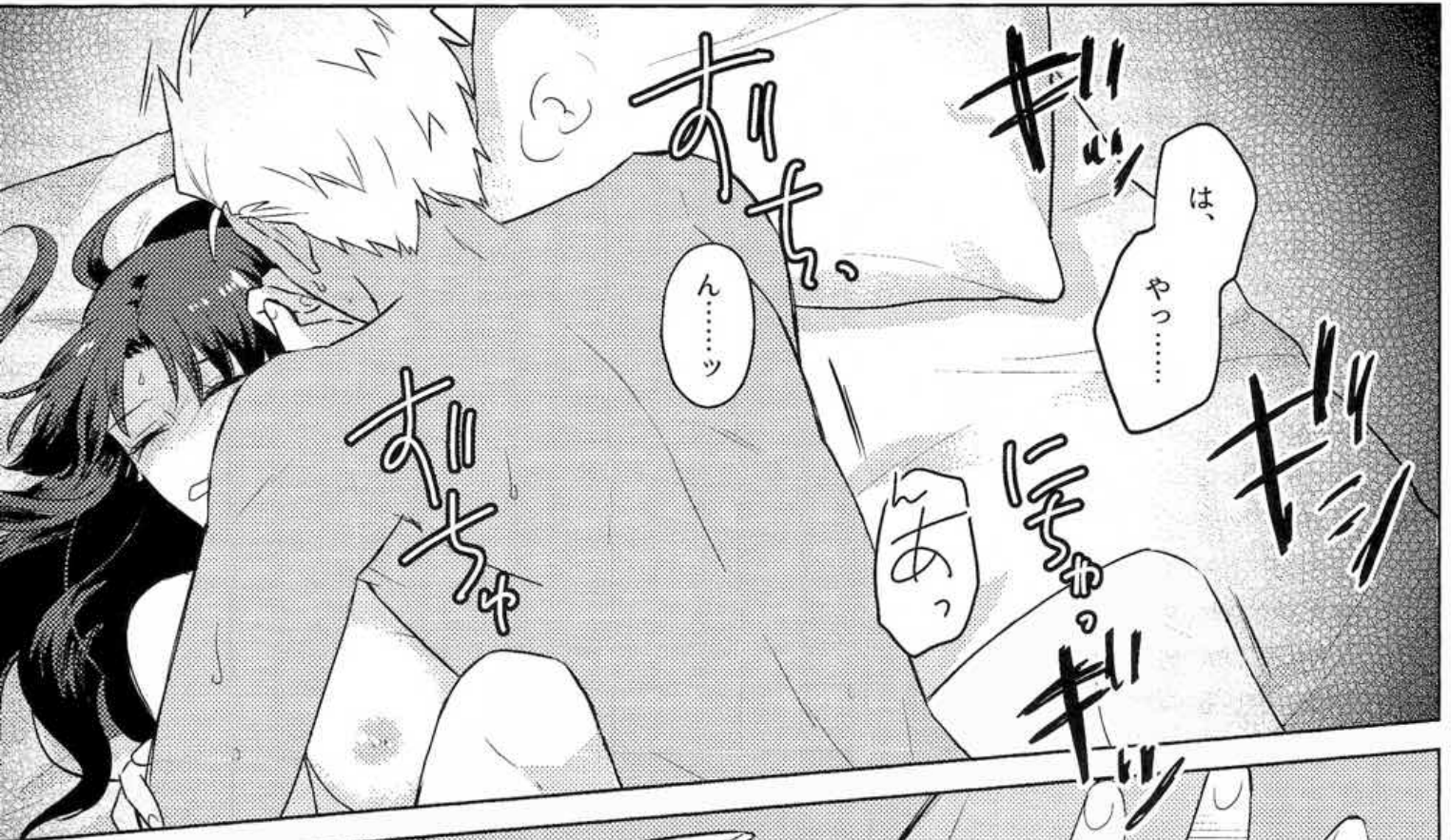


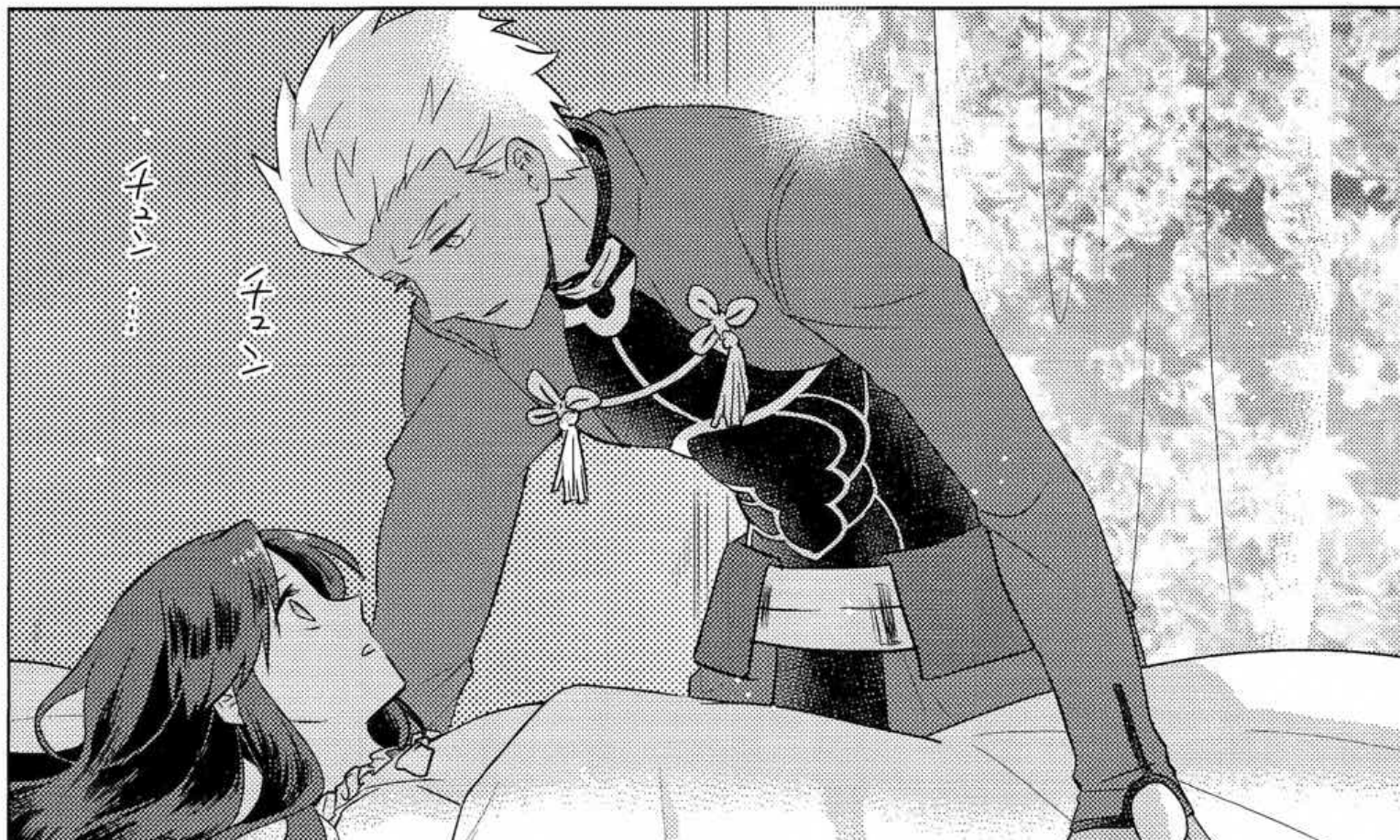
にかいめの
キモチ

R18

presented by illuminator
Fate/Staynight fanbook
Archer X Rin









人間の悪い
ことを言うな

ちよ、
ちよっと
アーチャー！
なに勝手に
女の子の寝室に
入って来てるのよ

ひやええええ!?
たっ
たっ



まあどうあれ
目が覚めたなら
なにより

部屋の外でいくら
呼びかけても君が
起きないからだろう
いきなり名を
呼ばれた時は
いささか驚きは
したが……



ハッハッ

——胸の動悸が
止まらない

うそっもうこんな時間!?
起こすならもっと
早く起こしなさいよねっ

えっ



急がないと
学校に遅れて
しまうのでは
ないかね？

目の前に
アイツの
顔があつて

名前を
呼ばれて



まるで
あの日みたい



—数日前

遠坂家の敷地内の
霊脈から魔力を
吸い上げる陣を
作るつもりが…



敷地内の全ての
魔力源から魔力を
吸い取る陣を
作ってしまった



アーチャーまで
魔力をほとんど
吸い取られて…





あの時は
とにかく必死で

魔力供給
しなくちゃって—

あの日の選択に
後悔なんて無い

ただ、あれから
アーチャーといると
何か落ち着かない

何気ない日常すら
違和感を覚えるくらい



そう、たとえば
こんな時—



はたと
気付くのである

これってもしかして…
すぶく
恥ずかしいんじゃない



アーチャー、
ちよつと…
下ろして!

い
ばた
た

なっ…
いきなり何だ

暴れるな
マスター!

い
た



何って…
下ろしてって言ってるの、
自分で移動するから!

突然何を
言い出すんだ、
君は!



今更どうしたんだ?
どうせ移動するなら
私が抱えて移動した方が
手っ取り早いと

この体勢を
提案してきたのは
君の方だろう

う



そつだった…
かもしれないけど!

いや…

かもしれないも
何もそうなのだが







はあ……
何やってるんだろう
わたし……

は
……



……どうしたの？
遠坂のそんな様子見るの
初めてな気がするんだけど……
なんか疲れてる？

いや……
ちよっとね

ふうん……穂群原の
ミス・パーフェクトにも
悩みなんてあるんだね



美織さん
茶化さないで
もらえるかしら、
こっちは真剣に
悩んで…

ほら、やっぱり何か
悩んでるんじゃないか

うっ

話してみなよ！
案外、誰かに話すだけで
気が軽くなったりする
もんだから

カタンッ



わ、
わたし
じゃなくて

知り合いの
話なんだけど

ふむふむ
それで？

絶対自分の
話だよな！

あえて
突っ込まないけど

その知り合いと、
知り合いの知り合いの
話なんだけど

はあ

知り合いの
知り合い…？

いつも一緒にいた
人のはずなのに、
ある日から突然

一緒にいると
ムズムズしたり
そわそわする
というか





なあんだ、
簡単じゃないか

えっ？

それって
つまりさ、
相手を男として
意識し始めたって
事だろう？



アイテラ
オトコトシテ
イシキ…？

え…

その発想は
無かったって
顔だね遠坂

どれだけ
鈍いんだ



いつも一緒にいた
相手に対して急に
落ち着かなく
なったんだろう？

何かきっかけがあつて
相手を意識するようにな
ったんじゃないの？

何かの

きっかけ



そそそそそ
そんなわけ
無いじゃない!?

クワァァァ

な...っ!

何か思い当たる
節があるんだ? 遠坂
知り合いの話なのに?

にゃ

にゃ

顔に出て
面白いなあ



まあ悩むのも
ほどほどに
しなよ!

ミ
キ
ー
な



し...ん
や...っ
ど...う
い...う
事...!

はいはい
わかったわかった
そういう事に
してやるよ



ギョ...



ジュンヤァァ



...そうか

わたし、
アイツのこと……



……
凛



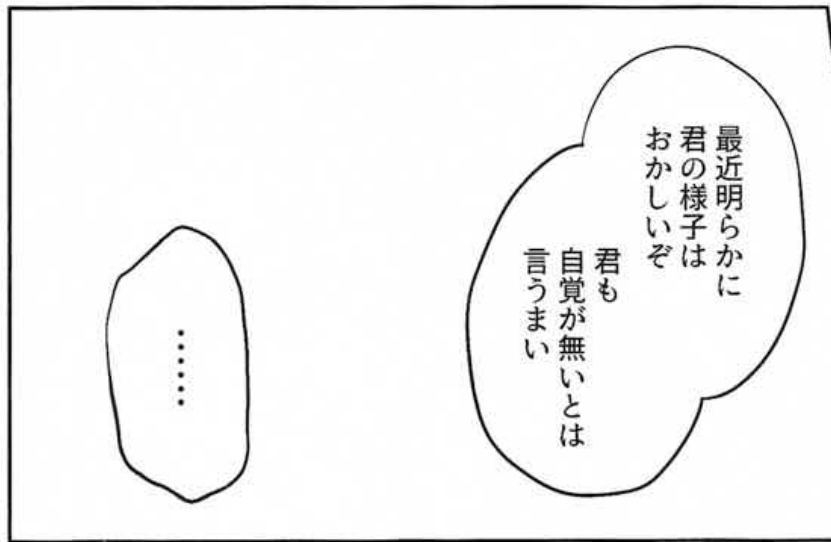
カキヤ..



けほっ
けほっ

ぐほっ、
えっ!?
べ、別に
何も無いけどッ

今日は一層
挙動不審だが
何かあったのか?



最近明らかに
君の様子は
おかしいぞ
君も
自覚が無いとは
言うまい

……



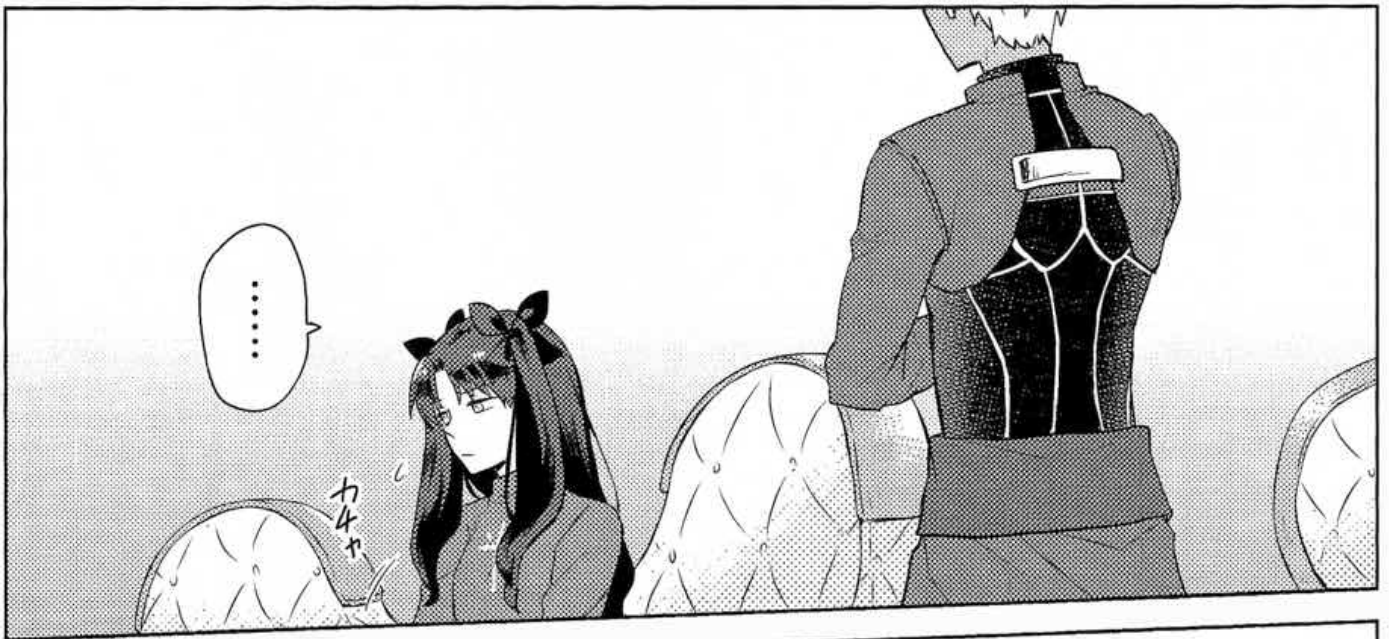
……凜、
話そうとは
思っていたのだが



『あの夜』以降だ
……違うか?

そして…
私の気のせいじゃ
なければ
君の様子が
おかしくなったのは





あの時は
私も魔力不足で
他の選択肢も無く
君に押し切られる
形で不本意に
事に至ったが…

まだ若い君に
心身面での負担を
強いた結果になった
事には変わりない

とはいえ
君も魔術師だ

使い魔への
魔力供給など
儀式にすぎない
私が言えた
義理ではないが…

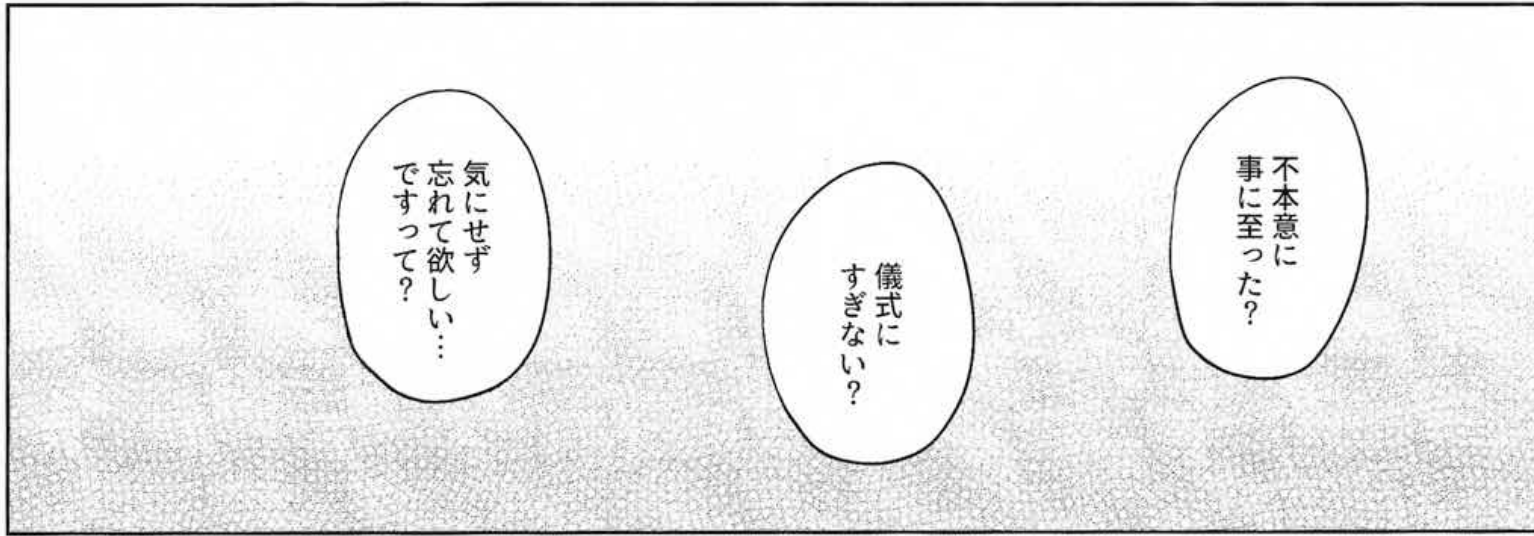




……何よそれ



どうか君もあの夜の事は気にとめず、忘れて欲しい



気にせず忘れて欲しい……ですって？

儀式にすぎない？

不本意に事に至った？



何よ……
何よ、何よそれ！



……凛？

凛



アンタ、わたしと
イヤイヤしたって言うの!?

あんなに
気持ちよきそつに
しておいて!!

キッ

りんりんりん
りんツツ!?



ま、待て凜!
そういう
話では...

じゃあ
どういふ話よ!



私だけ
アーチャーのこと
気になつて

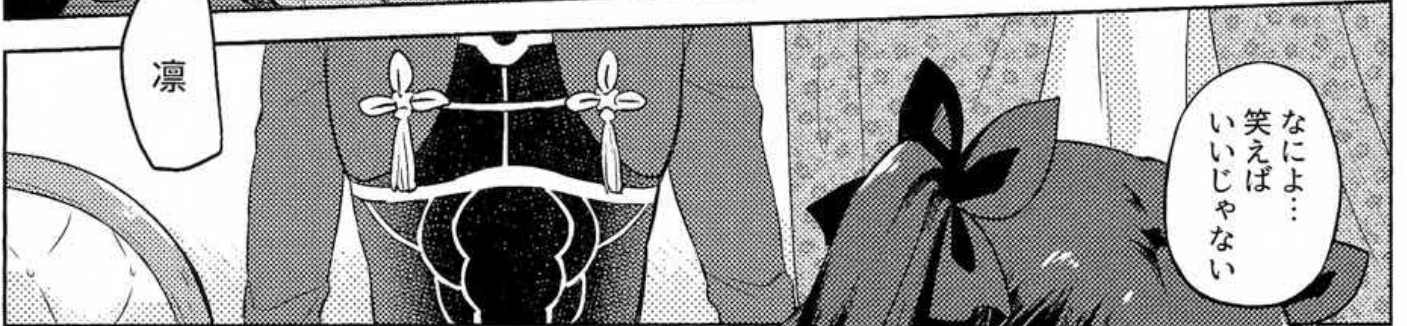
仕方無いって...

はっ...

話...

気にしてるのは
わたしだけってことね、
はいそうですか!!
あんたは
わたしのこと全ツ然
意識してないのに!

悪かったわね、
気持ちの
割り切りもできない
マスターで!





その甘さは
実に君らしい

まったく、
似たもの同士と
いうべきか
何というか

え…？



…私とて、全く
気にしていない
わけが無かるう

うそつ、アーチャー
いつもどおり
だったじゃない！

君を困らせると思い、
顔に出さないよう
していただけだ



…それで？
君はどう
したいんだ



ど、ど、ど
どうして？

ずっとこのまま
ぎくしゃく
されてはかなわん

マスター、
君は何を望む？



何であれ
君の望むまま、
私は応えよう



もう一度
我々の関係を
見直して…

そうだな

もう一回…

……も、

そ、そうじゃ
なくて！



あ。

いや落ち着け
マスター！何故
そうなる!?



あーっ
もうこの
にぶちん!



もう一回、

その…し、
したいなって…

わ…わたしが
アンタと！
魔力供給とか
そういう建前
抜きで、

ホカ

も…もう一回、
ちゃんとしたって
言ってるの!

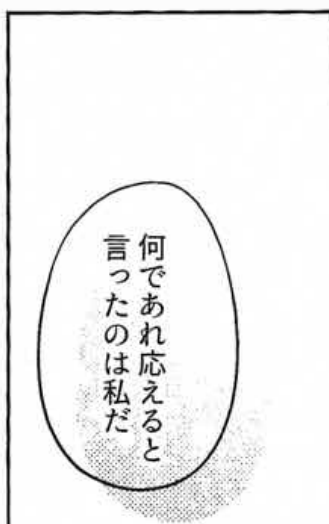
何女の子に
言わせてんのよ、
このばかあ!

ホカ

ちよっ痛ッ、
こら！
叩くな
凜!

ホカ







君の望むままに、
凜



くちゅっ…

…っ



凜、そろそろ
いいか？

うん…
あ、でも
待って
アーチャー



んっ…

んっ

んっ

くちゅっ

くちゅっ





……これは
何の拷問だ、凛
焦らしてくれるな

ご、拷問って！
焦らしてなんて
ないわよっ

フウ……

ん？…あ、
あれっ…

も、もう
ちよっとで…
ん、あつやだ
またすべる…ッ

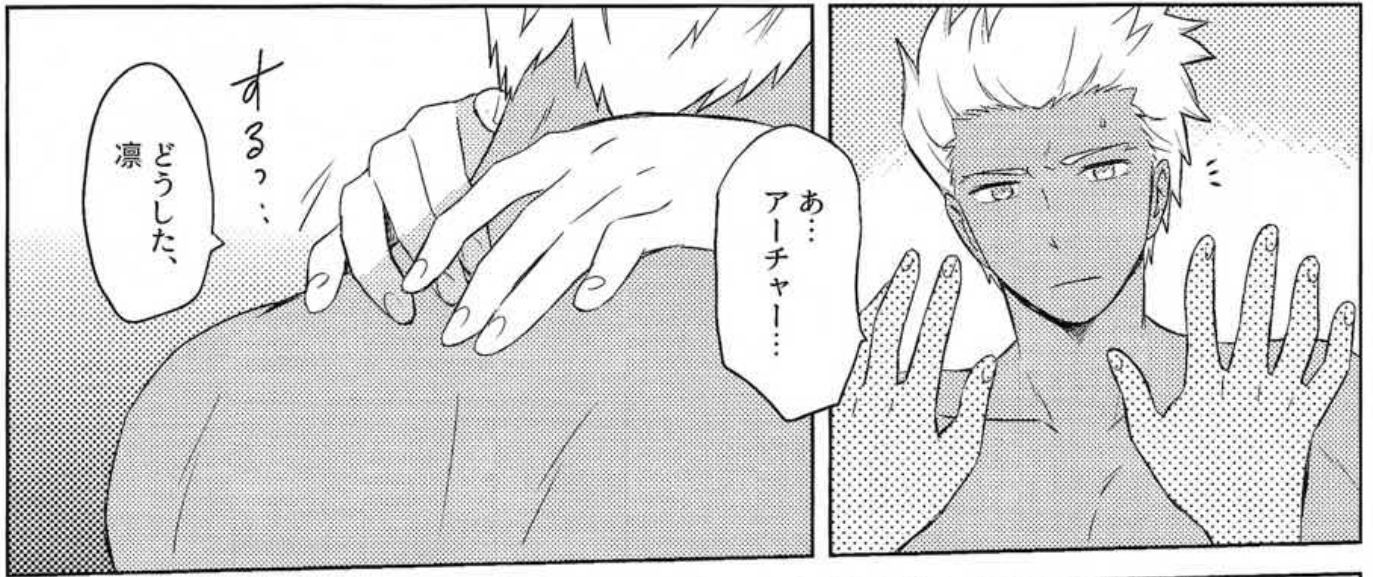


アーチャー…



はよ…
まったく…







あッ
ア、
チャー...

あッ
ア、
チャー...

あッ
ア、
チャー...

あッ
ア、
チャー...

あッ
ア、
チャー...

あッ
ア、
チャー...

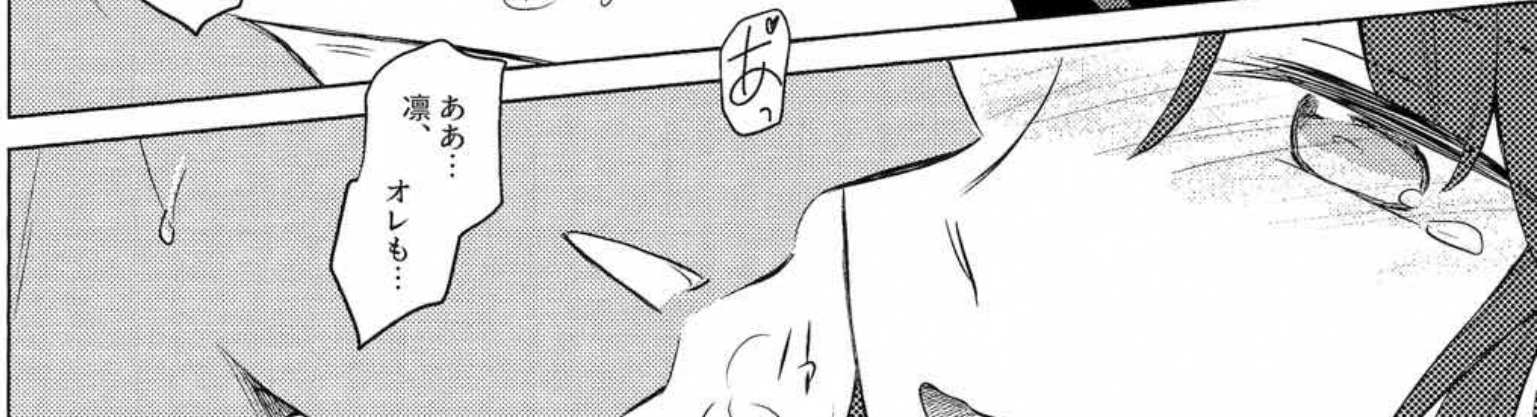
あッ
ア、
チャー...



だめ

あ、
もう
わたし

あ、
もう
わたし



ああ...
凛、
オレも...

あ



は...
あ...

ジュン
ジュン

は...
は...

は...

は...

ん...
ん...

ちゅ
ちゅ

ハ
ハ
ハ

ハ
ハ
ハ

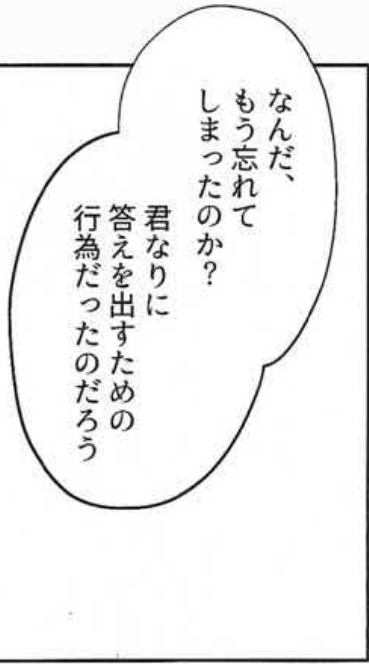
ジュン



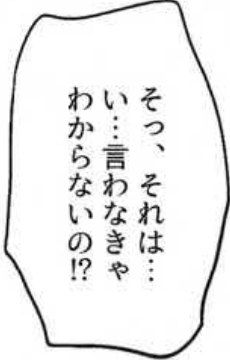


ほんっと
鈍いんだから!

凛?何を
怒っている



なんだ、
もう忘れて
しまったのか?
君なりに
答えを出すための
行為だったのだから



そつ、それは:
い...言わなきゃ
わからないの!?



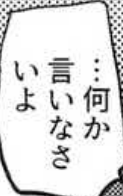
い、一回だけで
分かるわけ
ないでしょ!



...続けてたら
そのうち、
わかるんじゃない?



...



...何か
言いなさ
いよ



…悪かったわね、
何よ、不満？

何事にも優秀な
君の口から
わからない、など
そんな言葉が
出るとはな

そうさな、
魔術師の
発言としては
不満かもしれんが…

ギィ…



先ほども
言っただろう？



その甘さが
愛おしい
君らしいのだと